

知 わたしたちの暮らしと化学物質



わたしたちは生活の中で、化学物質の性質を利用して作られたいろいろな製品を使っています。化学物質は便利な生活のために欠かせないものですが、上手に付き合わないとう人間や動植物に悪い影響をあたえてしまうものもあります。

身の回りのものは、みんな化学物質でできている

化学物質には、自然にあるものと、人間が作り出したものがあります。わたしたちは、化学物質のいろいろな性質を利用して、健康で便利な生活をしています。

もともと自然にある化学物質(例)



人間が作り出した化学物質(例)



化学物質のこねさ

化学物質には、便利な性質がありますが、使い方をまちがえたり、きちんと処理しないで環境中に捨てたりすると、人間や動植物に悪い影響をあたえてしまうことがあります。

悪い影響の例

自動車の排出ガス

健康に影響をあたえる可能性が高い有害な化学物質がふくまれています。



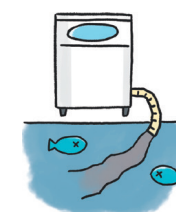
殺虫剤

部屋の中で使ったあと空気を入れかえないと、頭が痛くなることがあります。



洗剤など

そのまま川に流すと、生き物に悪い影響をあたえてしまうことがあります。



塗料

塗料にはにおいがあり、長い時間そのまま吸い続けると、気分が悪くなることがあります。



化学物質との上手なつきあい方

化学物質は、便利な性質だけでなく、有害な性質も持っているので、上手に付き合うことが大切です。

上手な付き合い方の例

乗り物を利用するとき

自動車の排出ガスの量を少なくするため、自家用車の代わりに、たくさんの人が一緒に乗れる電車・バスなどの公共の乗り物や自転車を利用しましょう。急発進・急加速をしないことや、ハイブリッド車や電気自動車などの低公害車に乗ることも効果があります。



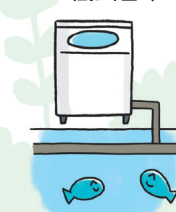
殺虫剤を使うとき

使いすぎに注意して、使った後は室内の空気を入れかえましょう。害虫が発生する場所をつくらないように、こまめにそうじすることも大切です。



洗剤を使うとき

洗濯物の量や汚れの程度に合った正しい量の洗剤を使いましょう。



塗料を使うとき

室内で使うときには、窓を開けたり、換気扇を回して空気の入れかえをしましょう。



「公害」って何だろう？

「公害」とは、工場で物を作るなど、人間のいろいろな活動によって空気や水や土が汚れてしまい、健康や生活環境に関する被害が起こることです。有害な化学物質による公害が原因の病気のうち、日本で特に大きな被害を出した右の4つを「四大公害病」といいます。

四大公害病

- ① 水俣病(熊本県 水俣市)
- ② 新潟水俣病(新潟県 阿賀野川流域)
- ③ イタイイタイ病(富山県 神通川流域)
- ④ 四日市ぜんそく(三重県 四日市市)